2022 年度実施概要

学校名

大牟田市立天の原小学校

採択活動名

有明海や三池港を生かした大牟田海洋教育プロジェクト

実施単元　※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海に親しむ「海や川の生き物のために」	第 3 学年	海の時間
2. 海を知る・守る　「海や川の環境のために」	第 4 学年	海の時間
3. 海を守る・活用する　「森と私たちのために」	第 5 学年	海の時間
4. 海を守る・活用する　「自然と私たちの未来のために」	第 6 学年	海の時間

取り組みの概要

関連するＳＤＧｓの目標１３・１４・１５を核とし，市内の海洋教育に取り組んでいる小学校と連携・協働し，社会科や理科の学習と関連させながら，総合的な学習の時間において海洋教育を推進している。総合的な学習の時間において，年間２５時間を「海の時間」と設定し，海洋教育の４つの視点「海に親しむ・海を知る・海を守る・海を活用する」を系統的に位置づけた活動計画を作成し，実施している。

【３年生】

○　有明海の干潟や諏訪川の支流である野間川に生息する生き物の調査･観察を通して，海や川の自然を体験的に親しむ。そして，見つけた生き物について調べたことをまとめ，連携している学校や校内，地域へ発信することを通して，海や川の生物多様性について考える。

【４年生】

○　有明海やその海に流れる諏訪川の支流である野間川のゴミの様子や水質について調べ，調査結果を連携している学校と交流することで，ゴミや生活排水によって海や川が汚染されていることについて知る。そして，学習したことをまとめ，連携している学校や校内，地域へ発信することを通して，川や海の環境保全について考える。

【５年生】

○　山の役割や恩恵について調べ，調査結果を連携している学校と交流することで，山・川・海が密接に関わり合っていることや，恩恵を活用しながらもそれらを守ることの大切さを学習する。して連携している学校や校内，地域へ発信し，恩恵・産業と私たちの生活との結びつきについて考える。

【６年生】

○　前学年までに学習してきた海洋教育の内容をもとに，手入れされていない竹林のもたらす被害についてGTの協力を得ながら調べる。また，調査結果を連携している学校と交流したり，隣接学校や校内，地域へ発信したりすることを通して，持続可能な地域づくりのために私たちにできることについて考える。